

# What is "やみ鍋の会"?

東西の若手落語家による月イチ落語会。誰が出るか、どこでやるか分からない神出鬼没でスリリングな落語会！月亭方正と笑福亭瓶二が2人で落語の稽古会をしていたのが始まり！月亭方正が「笑っていいとも」出演の際、瓶二の師匠である笑福亭鶴瓶にそのことを報告すると「せっかくなら名前をつけて落語会を開いたほうがいい」と言われ、つけてもらった名前が「やみ鍋の会」である。現在、会のメンバーは13名。

TSUKITEI HOUSEI



## 月亭 方正

昭和43年2月15日生まれ 兵庫県西宮市出身 O型  
よしもとクリエイティブ・エージェンシー所属 NSC大阪 6期  
上方落語協会会員 出囃子は「ヤマザキー一番」

40歳を迎えた直後、テレビの仕事以外にも舞台にも挑戦したいという思いが強くなり、東野幸治の勧めもあり古典落語を聞き、その面白さに目覚める。その後、本格的な落語の勉強を始め、月亭一門に入門した。月亭一門に弟子入りしたのは飲み仲間に月亭八光が居た為。2008年に月亭八方の落語会に客演として落語家デビューし、打ち上げの席で八方から正式に「月亭方正」の名を貰う。現在も積極的に月亭一門会や師匠・八方との親子会、「月亭方正・十番勝負」と称した勉強会、花花寄席等に出演。2011年1月1日は『笑点』スペシャルの東西大喜利に初出演。大師匠・可朝とも共演している。2012年8月には拠点関西に移し、2013年より月亭方正としての活動を始めている。

■ブログ「月亭方正の奇跡」 <http://housei.laff.jp/>

SHOUFUKUTEI HEIJI

## 笑福亭 瓶二

昭和44年12月11日生まれ  
兵庫県多可郡出身 O型  
主な会は  
「笑福亭瓶二のマントヒビ寄席」  
「瓶二と勉強会」  
出囃子は「銭形平次」



1990年8月1日、笑福亭鶴瓶に入門。鶴瓶の9番弟子となる。大阪で「ざこば・鶴瓶らくごのこ」などに出演。1998年からは東京に拠点を移し、現在は「笑福亭瓶二のマントヒビ寄席」(巣鴨)、「瓶二と勉強会」(神保町)、月亭方正らとの「やみ鍋の会」「笑福亭鶴瓶一門会」などの落語会を中心に、大阪「天満天神繁昌亭」静岡「レンガde落語」、福岡「美案寄席」など、日本全国の落語会に定期的に出演している。

■ブログ「笑福亭瓶二のマントヒビ日記」  
<http://blogs.yahoo.co.jp/heyji1211/folder/134319.html>

TATEKAWA SHINOHACHI



## 立川 志の八

昭和49年5月24日生まれ  
神奈川県横浜市出身 O型  
出囃子は「エイトマン」

幼いころから落語が好きでよく聞いた。一度落語から離れたが、二十歳をすぎ、改めて落語を聞くようになる。そのころ聞いた師匠志の輔の「唐茄子屋政談」に衝撃を受ける。

2000年5月、落語立川流、立川志の輔に入門 / 前座名 志の八

2009年2月、名前は変わらず志の八で二ツ目昇進

2011年3月、第10回さがみはら若手落語家選手権 優勝

2012年9月、前橋 第四回若手落語家選手権 優勝

只今、地元横浜や渋谷などで定例の会を開いている。

■公式サイト <http://www.shinohachi.com/>

SANYUUTEI MANKITSU

## 三遊亭 萬橘

昭和54年1月20日生まれ  
愛知県宝飯郡出身 A型  
出囃子は「小鍛冶」



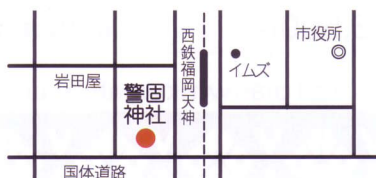
法政大学在学中に落語と出会い、落語研究会に。その後大学を中退して平成15年三遊亭円橘に入門。前座名「橘つき」。その後、二ツ目昇進時に「きつつき」へ。平成25年3月に真打昇進とともに四代目「萬橘」を襲名。普通の事を普通にしゃべっているのに独特の間とリズムで客席を和ませあつという間に観客の気持ちをつかんでしまい、異空間より飛び出したような不思議な雰囲気を出す。

平成25年3月1日～3月10日まで両国寄席にて真打昇進襲名披露興行を行う。

■公式サイト <http://mankitsu4.com/>

警固神社内  
神徳殿

福岡市中央区天神 2-2-20



ご予約・お問合せ

☎ 080-3188-1974 ✉ [bianwmk@yahoo.co.jp](mailto:bianwmk@yahoo.co.jp)

[www.bian-fukuoka.com](http://www.bian-fukuoka.com)

主催・制作：WMKエージェンシー